

世界に誇れる極上の会津米づくり「目指そう 今年も特A 会津コシ1等米100%」

## 両沼地方稲作情報 緊急号

平成29年8月17日

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)  
" 金山普及所 (電話0241-54-2801)  
JA会津よつば みどり地区本部、各営農経済センター、  
JA会津米改良協会

8月に入り日照時間が少ない状況が続いています。病虫害が発生しやすくなることから、定期的にほ場を観察し、適期防除に努めましょう。

また、栽培管理の基本技術をもう一度確認し、品質・収量の向上に努めましょう。

### 1 水田の水管理

- 管内の水稻は穂がほぼ出揃いましたが、水田に水が無いところが見られます。今の時期は水稻が最も水を必要とする時期です(花水)。この時期に水が不足すると、開花や受精に障害がおこり、不稔粒が増加します。
- 開花期までは湛水状態で管理しましょう。その後は間断かん水とし、根の活力を維持することで登熟の向上を図りましょう(出穂後30日を目安に落水)。

### 2 斑点米カメムシ類の防除

- 斑点米カメムシ類の注意報が発令されています。薬剤防除を徹底しましょう。
- 粉剤、液剤等による防除は、乳熟期(出穂期の7~10日後)を基本とします。多発地域では更に1週間後に追加散布をしてください。
- 粒剤を使用する場合は、穂揃期~乳熟期に湛水状態で散布します。

### 3 穂いもちの防除

- 箱処理剤を施用していないほ場や、上位葉に病斑が見られるほ場、粉剤等で予防をしていないほ場、葉色の極端に濃いほ場では早めに防除しましょう。
- 穂いもちの多発生が予測される場合にはさらに傾穂期に追加防除を行います。

薬剤名	使用時期	使用量	使用方法
ブラシン粉剤 DL	収穫7日前まで	3~4 kg/10a	散布

御不明な点は最寄りのJA支店または普及所までお問い合わせください。